

エンタープライズサーバ
MP5400EX



エントリーモデル

パラレルプロセッサモデル Mタイプ

パラレルプロセッサモデル Lタイプ



エンタープライズサーバ
MP5400EX **活用レポート**



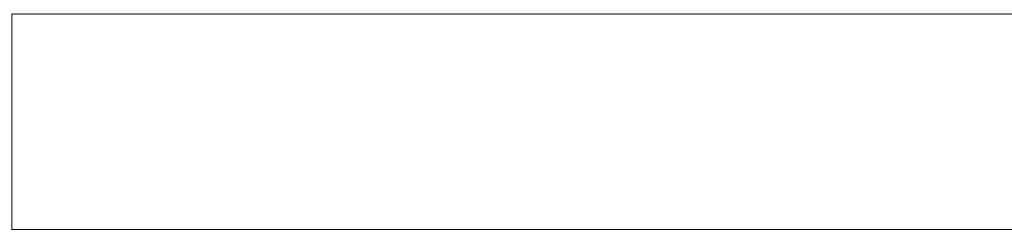
株式会社オーネックス
(鉄・非鉄金属の各種熱処理加工)



安全に関するご注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

株式会社 日立製作所

エンタープライズサーバ(事業部)	〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目27番18号(日立大森第二別館)	(03) 5471-8902(ダイヤル)
北海道支社	〒060-0002 札幌市中央区北二条西四丁目1番地(札幌三井ビル)	(011) 261-3131(大代)
東北支社	〒980-8531 仙台市青葉区一番町二丁目4番1号(興和ビル)	(022) 223-0121(大代)
関東支社	〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号	(03) 3212-1111(大代)
横浜支社	〒220-0011 横浜市西区高島二丁目6番32号(日産横浜ビル)	(045) 451-5000(代)
北陸支社	〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号(富山興銀ビル)	(076) 433-8511(大代)
	〒920-0853 金沢市本町二丁目15番1号(ポルテ金沢)	(076) 263-0551(ダイヤル)
中部支社	〒460-8435 名古屋市中区栄三丁目17番12号(大津通電気ビル)	(052) 243-3111(大代)
関西支社	〒559-8515 大阪市住之江区南港東八丁目3番45号(日立関西ビル)	(06) 6616-1111(大代)
中国支社	〒730-0011 広島市中区基町11番10号(千代田生命ビル)	(082) 223-4111(代)
四国支社	〒760-0007 高松市中央町5番31号(中央町ビル)	(087) 831-2111(代)
九州支社	〒814-8577 福岡市早良区百道浜二丁目1番1号(日立九州ビル)	(092) 852-1111(代)



製品仕様は、改良のため変更することがあります。
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

ノンストップで動き続ける熱処理の現場で、 情報システムに求められるレスポンスと信頼性。 優れた費用対効果で、その要求にこたえたMP5400EX。

果物ナイフから人工衛星まで。熱処理加工のリーディングカンパニー、株式会社オーネックス(以下、オーネックス)が“火の力”によって鍛え上げる大きささまざまな金属部品は、多種多様な形となって世界へと送り出されています。15トンピット炉など充実の処理設備と高い技術力を誇る同社は、約1000社におよぶ取引先を抱え、取り扱い品目は累計15万点以上。その生産管理を担うのが、火を絶やさない熱処理炉と同様、24時間、年350日もの間、ノンストップで稼働を続ける情報システムです。しかし近年、データ量の増大を背景に、利用していたオフィスコンピュータの能力不足が各種処理のスピード低下という形で表面化。その課題を解決すべく、平成13年1月、本社工場と東松山工場でMP5400EXが稼働を始めました。



会社概要

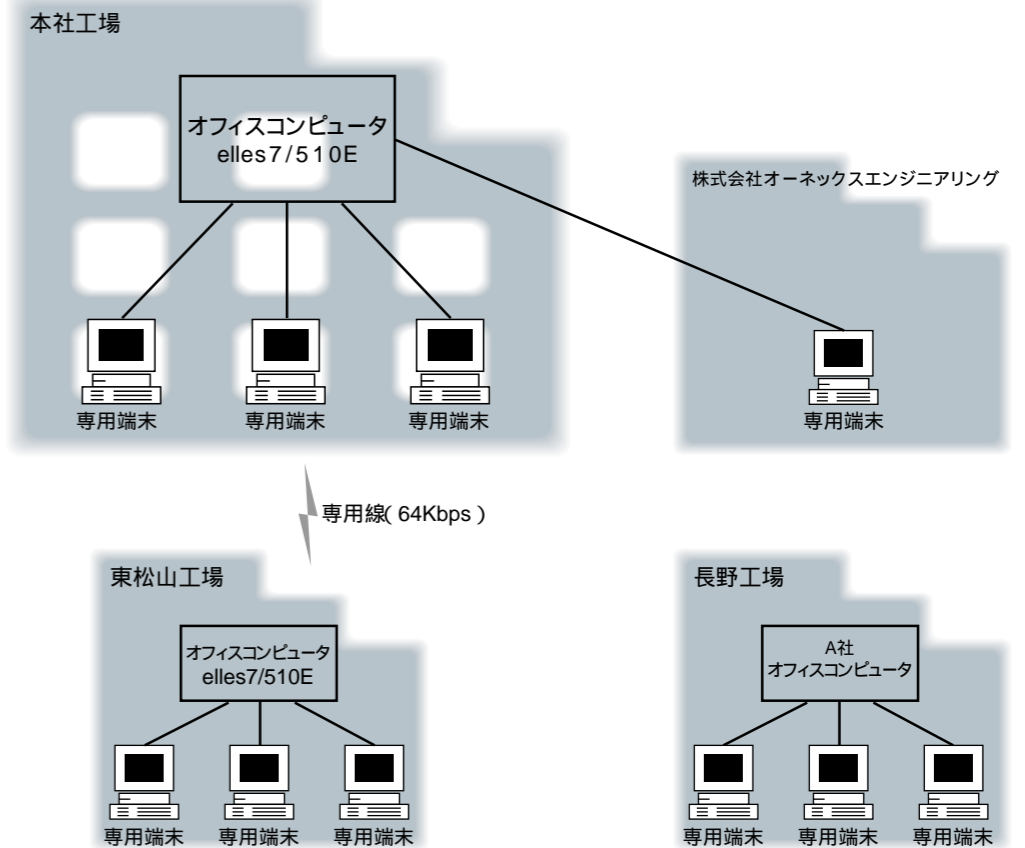
会社名：株式会社オーネックス
 設立：昭和26年8月4日
 資本金：87,700万円
 従業員数：235名
 事業内容：鉄・非鉄金属の各種熱処理加工

従来システムの問題点

昼夜2回の日次のバッチ処理とバックアップ処理に計5時間30分も要しており、特に昼休みに行う処理では予定の1時間をオーバーし、現場業務に支障をきたすことが多かった。データベース更新の際、データ1件の追加・削除に3分以上かかっていたため、作業を中断できない工程で登録すべきデータを入力できないことがあった。既存業務の処理スピード低下の懸念とディスク容量の不足から、システムの手直しや新規業務の開発をあきらめざるを得なかった。

専用端末だったためエンドユーザーが基幹データを活用できず、情報システム部門を担当する株式会社オーネックスエンジニアリングがエンドユーザーからの要求に応じて、その都度プログラムを開発していた。帳票ごとに異なる端末直結のプリンタを利用しており、他の端末からは必要な帳票が出力できず、円滑な業務遂行を妨げていた。オフィスコンピュータ側からの端末の計画停止ができなかったため、夜間バッチ処理などの運用で現場のエンドユーザーに負担をかけていた。

従来システム図



MP5400EXによる新システムの具体的効果

処理性能の強化を主眼にシステムの再構築を図るオーネックスでは、検討の初期段階でメインフレームの採用を決定。その上で、従来のオフィスコンピュータと運用を大幅に変更する必要がなく、将来のデータ量増加と新規業務開発にも耐え得る拡張性に富んだMP5400/10EXが次期システムの中核を担うマシンとして選ばれました。新システムでは、本社工場と東松山工場にそれぞれMP5400EXとPCサーバを導入し、エンドユーザーがパソコンから基幹データベースにアクセスできる環境を構築。また、東松山工場のMP5400EXと長野工場の端末を専用線で結び、拠点間の情報共有を図りました。

効果

経営部門

以前は情報システム部門に指示を出して入手していた各種データが、パソコンから即座に入手できるようになり、経営分析、経営戦略の立案に活かせるようになった。

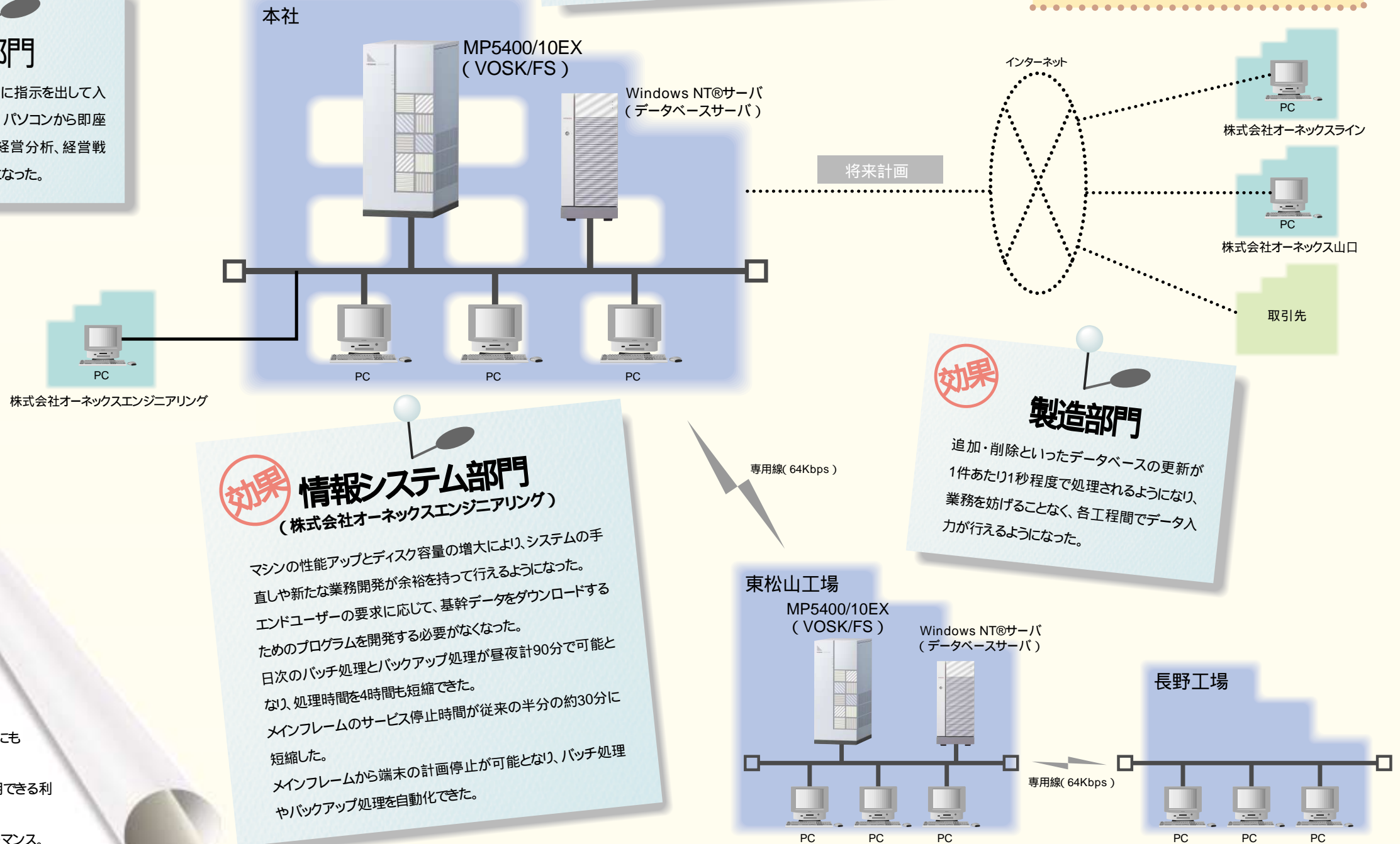
効果

生産管理部門

製造部門でのデータ入力に徹底され、正確な情報が上がってくるようになった。
バックグラウンドで行っていたバッチ処理およびデータベースの更新処理がスピードアップしたことから、夕刻に集中する受注品の受入登録や生産日程計画といったデータ入力業務の処理時間が大幅に短縮した。
受入票や出荷票の専用プリンタをLANで共有することにより、すべての端末から必要とする帳票を出力できるようになった。
端末をパソコンに移したことで情報の共有化が図られ、基幹データもパソコンから即座に入手できるようになった。

将来計画

関連会社をネットワークで結んで企業グループ間の情報共有を推進し、連結決算などにもスムーズに対応できる体制を目指す。
基幹システムとWeb環境を連携させ、Web上に納期や炉の空き状況、受注品の加工の進捗状況に関する情報を公開し、顧客サービスの充実を図る。また、取引先の工場とオーネックスの工場をダイレクトに結び、現場から現場へのスピーディーな情報の受け渡しを実現する。
輸送会社のドライバーが取引先で品物を預かった時点で、携帯端末などによりそのデータを工場に送信できるシステムを構築する。



効果

製造部門

効果

製造部門

追加・削除といったデータベースの更新が1件あたり1秒程度で処理されるようになり、業務を妨げることなく、各工程間でデータ入力が行えるようになった。

効果

情報システム部門

(株式会社オーネックスエンジニアリング)

マシンの性能アップとディスク容量の増大により、システムの手直しや新たな業務開発が余裕を持って行えるようになった。
エンドユーザーの要求に応じて、基幹データをダウンロードするためのプログラムを開発する必要がなくなった。
日次のバッチ処理とバックアップ処理が昼夜計90分で可能となり、処理時間を4時間も短縮できた。
メインフレームのサービス停止時間が従来の半分の約30分に短縮した。
メインフレームから端末の計画停止が可能となり、バッチ処理やバックアップ処理を自動化できた。

MP5400EXを選んだ理由

- データ量の増加にも余裕を持って対応できる高い処理能力。
- 対話型処理が中心の運用を変更せずに済む、オフィスコンピュータからの移行性。
- 要求に応じて上位モデルへグレードアップできる拡張性。
- 24時間350日連続稼働という過酷な運用環境にも耐えられる信頼性。
- エンドユーザーがパソコンから基幹データを活用できる利便性。
- ハードウェア、ソフトウェアの優れたコストパフォーマンス。